

自家がんワクチン療法について

1) 自家がんワクチンとは、患者さん個々のパーソナル「ドラッグ」です

※キラーリンパ球細胞は、がんやウイルスにかかった細胞を傷害することが分かっています。

「自家がんワクチン療法」は、患者様自身のキラーリンパ球を体内で活性化して、分裂・増殖を盛んにし、自身のがん細胞を殺そうという治療法です。<がん細胞を特異的に攻撃する免疫療法です>

※患者様自身のがん組織を、ホルマリンで化学的に固定し、完全に殺した上で、がん抗原を含むワクチンに加工して、添加し投与します。そのため、高い効率で、がんと闘えるキラー細胞の体内誘導が期待出来るがん免疫療法になります。

※<がんワクチンを作成するにあたって・・・>



※セルメディン社との共同で取り組んでいます

2) 投与回数は・・・

※外来通院で接種可能です。

免疫反応テスト2回・ワクチン本体の接種3回の合計5回の注射を行います。

※通常は2週間毎の1回（急ぐ場合は1週間毎に1回でも可）

皮内に5か所、自家がんワクチンを注射します。全治療期間は、約6週間です。

（別紙手順参照）

3) 副作用について

※副作用はほとんどありませんが、日焼け後のように表皮が剥がれたり、一過性の発熱がある程度です。

※ワクチン投与前から、既に自己免疫疾患を持っている疑いのある患者様への投与は、自己免疫病を悪化させる可能性があるため、禁忌としております。

医療法人 社団 医聖会 百万遍クリニック

2010年4月更新